

米国が締結する二国間原子力協力協定における濃縮、再処理の取扱いに関する動向

オバマ政権

- 2012.1 ケースバイケースの方針を決定
- 2012.5 クリントン国務長官が再検討を指示
- 2013.12 フレキシブルな方針を決定
- 2014.1 米台協定を議会に提出(6月発効)
- 2014.5 米ベトナム協定を議会に提出、濃縮、再処理を政治的に禁止した法案(10月発効)
- 2015.6 米韓協定を議会に提出、濃縮、再処理は禁止していないが、現時点では事実上、事前同意を付与していない

トランプ政権

- 2017.11 フォード国務次官補（国際安全保障・不拡散担当）が指名承認公聴会の場で、サウジアラビア及びヨルダンとの原子力協力協定の締結に向けた交渉に関する質問に対して、JCPOAとの関係で中東の国々にゴールドスタンダードを求めることは困難な面もあるが、可能な限り強固な不拡散を追求できるよう外交交渉を行う旨回答
- 2018.2 サウジアラビアとの正式な交渉を開始

2012.1 書簡

- ケースバイケースが妥当
- これに沿ってベトナムとの交渉を進める

2013.12 口頭説明

- 大西洋協議会の非公式会議で説明
- フレキシブルな方針が妥当との説明

米国議会

- 上下両院外交委員会の有力議員は米UAE協定の濃縮、再処理の法的禁止を他の協定にも含めるべきこと(ゴールドスタンダード)を強く主張していた
- しかし2014年に入り、原子力協力や米ベトナム協定に関する公聴会では協定の有効期限が無期限となっていることがむしろ問題視されている

核不拡散コミュニティ

大部分はゴールドスタンダードを支持するも、米ベトナム協定のような政治的禁止にも評価の声

原子力産業界

産業界の競争力低下への懸念からゴールドスタンダードに反対(協定の有効期限の長短については問題視せず)

原子力法改正に反対する活発なロビー活動